



Fukuoka Johkasou Association

エコアクション21
登録番号 0001803

KAIHOU

美しい水環境の創造へ

かいほう

2025
AUTUMN

177

秋号



一般財団法人 福岡県浄化槽協会

Fukuoka Johkasou Association

従業員の方々にも広く、ご回覧下さい。

INDEX



提供：(一社)飯塚観光協会

麻生大浦荘 紅葉特別公開のご案内

- 住 所** 飯塚市立岩1060
- 期 間** 2025年11月23日(日)～30日(日)
9:30～17:00(入場16:30まで)
- 料 金** 無 料
- アクセス** JR福北ゆたか線「新飯塚駅」東口より徒歩約10分
- 駐 車 場** 一般駐車場なし (お近くの有料駐車場をご利用ください)



事業報告

検査事業

- 市町村職員による法定検査の視察 1
- 浄化槽法指定検査機関四国地区協議会検査員研修会に参加 2

普及啓発

- 出前講座の実施 3
- 柳川市コミュニティバスへの広告掲載 4
- 当協会会員企業の取組紹介 4
- 2025年度JICA課題別研修
「分散型污水处理システム導入・普及」に協力 5

試験・講習

- 「令和7年度指定採水員指定講習会」 6
- 「令和7年度福岡県浄化槽管理士研修」(第1期)を開催しました
「令和7年度指定採水員指定講習会」 7
- 「令和7年度福岡県浄化槽管理士研修」開催のお知らせ
令和7年度浄化槽関係試験・講習日程表 9

CSR

- エコアクション21現地審査について 10
- インターンシップの受入 10

その他

- 令和6年度末の污水处理人口普及状況について 11
- 令和7年度福岡県浄化槽整備事業補助金交付申請・
決定集計表について 12
- 年末年始の検体受付について 13
- 浄化槽システムの脱炭素化推進事業について 14
- 地域清掃活動の実施 15
- 法定検査の指摘事例 15
- 浄化槽の水質改善事例の紹介 16
- ふるさと紹介!自慢!特産!名産!名物!(No.22) 17
- 令和7年度浄化槽シンポジウム福岡の開催について 18
- 編集後記 18

表紙の写真について

表紙の写真は、飯塚市にある「麻生大浦荘」です。
 「麻生大浦荘」は筑豊御三家のひとつに数えられた麻生家の初代、大吉の長男、太右衛門の住宅として建築された麻生一族の住宅のひとつです。大正末期に建てられたといわれており、数寄を凝らした和風入母屋書院造りが美しい邸宅です。現在は麻生グループの迎賓館として利用されています。
 普段は非公開となっていますが、麻生家の持つ文化財を通じて明治・大正期の代表的な大邸宅の建築に触れる機会を設け、地元との交流をより深めたいと紅葉のシーズンに一般公開されています。
 邸宅から眺める風景は、芝生を貼り巡らせた庭園に赤や黄色に色づいた木々が美しく映え、麻生家の歴史と伝統を感じさせます。この日本庭園を見たいと、毎年遠方からもたくさんの観光客が訪れています。
 特別公開の期間以外は見学できませんのでご注意ください。

市町村の浄化槽担当職員の方々が、浄化槽の法定検査の様子を視察されました。
 実際の浄化槽を前に、浄化槽の構造、機能、検査方法等について当協会の検査員が説明し、市町村職員の方々に法定検査に対する理解を深めていただきました。



5月16日(金)飯塚市



5月29日(木)朝倉市



6月6日(金)久留米市



6月17日(火)行橋市



9月9日(火)・9月17日(水)福岡市

浄化槽法指定検査機関四国地区協議会検査員研修会に参加

「令和7年度浄化槽法指定検査機関四国地区協議会検査員研修会」が9月18日(木)・19日(金)の両日、高知県高知市のオリентホテル高知において開催されました。

研修会には、四国4県をはじめ、九州地区浄化槽指定検査機関協議会からも6県7機関が参加し、当協会からは2名が出席しました。

初日は、四国4県の指定検査機関による研究発表及び全国浄化槽推進市町村協議会久川事務局長から「特定既存単独処理浄化槽の検査機関の取組について」と題して講演が行われました。研究発表では、各検査機関の取組みに対して多くの質問が寄せられ、参加者の関心の高さが伺えました。

2日目に行われた分科会では、新人教育、精度管理、指摘事項等に関する浄化槽管理者への説明方法など法定検査業務に従事する職員の育成方法について、活発な議論が交わされ、検査機関相互の情報共有、意見交換の貴重な機会となりました。

2日間の日程で開催された研修会は、多くの知見に触れることができた実りある研修会となりました。

発表テーマ一覧

検査機関	発表テーマ
公益社団法人 徳島県環境技術センター	法定検査業務と働き方改革についての考察
公益社団法人 香川県浄化槽協会	塩素系洗剤などが浄化槽の処理機能に及ぼす影響について
公益社団法人 愛媛県浄化槽協会	11条検査履歴が一度もない周知案内分(行政指導)令和6年度結果報告について
一般財団法人 高知県環境検査センター	浄化槽法定検査員における接遇の違いに関する調査報告について



研修会のようす

出前講座の実施

浄化槽の普及啓発事業の一環として、職員が学校へ出向き、限りある水資源に関する「出前講座(水環境学習)」を行っています。

主に小学4年生や一般の方を対象に、水の循環に関する講義だけでなく、実際に水の汚れを測ったり、微生物を観察したりすることで、身近な水環境の現状を知り、汚した水を浄化する技術や、これから自分たちができることについて考える良い機会を提供できるものとなっています。

今年度の上半期では、以下の小学校で出前講座を実施しました。

出前講座実施校一覧

No.	日付	学校	No.	日付	学校
1	6/11(水)	直方市立上頓野小学校	13	7/ 7(月)	上毛町立友城小学校
2	6/12(木)	久留米市立大城小学校	14	7/ 7(月)	上毛町立南吉富小学校
3	6/13(金)	みやま市立高田小学校	15	7/ 9(水)	築上町立築城小学校
4	6/16(月)	みやこ町立諫山小学校	16	7/ 9(水)	築上町立上城井小学校
5	6/23(月)	築上町立椎田小学校	17	7/10(木)	豊前市立角田小学校
6	6/24(火)	糸島市立一貴山小学校	18	7/15(火)	桂川町立桂川東小学校
7	6/25(水)	飯塚市立上穂波小学校	19	7/16(水)	飯塚市立庄内小学校
8	6/27(金)	川崎町立池尻小学校	20	7/17(木)	大任町立今任小学校
9	7/ 1(火)	川崎町立真崎小学校	21	7/18(金)	八女市立八幡小学校
10	7/ 2(水)	豊前市立三毛門小学校	22	8/28(木)	川崎町立川崎小学校
11	7/ 2(水)	豊前市立大村小学校	23	9/16(火)	上毛町立唐原小学校
12	7/ 3(木)	福智町立市場小学校	24	9/17(水)	飯塚市立高田小学校

出前講座のようす

水のお話



水の汚れを調べよう



〇×クイズ



紙の溶けやすさを比べよう



柳川市コミュニティバスへの広告掲載

浄化槽適正管理推進の一環として、柳川市のコミュニティバスに「浄化槽ポスターコンクールの作品」と「適正管理」の記事を掲載した広告を行っています。

コミュニティバスの車外と車内に、浄化槽適正管理の広告を掲載し、利用者の皆さまへ啓発を行います。

広告掲載期間	令和7年6月1日から12月31日まで	
広告路線	昭代線、蒲池線、両開線	車外広告・車内広告
	市街循環線	車内広告のみ



当協会会員企業の取り組み紹介

当協会の会員企業である(有)三瀦環境様が新しく導入されたバキュームカーに、令和6年度浄化槽ポスターコンクールの入賞作品をラッピングしていただきました。

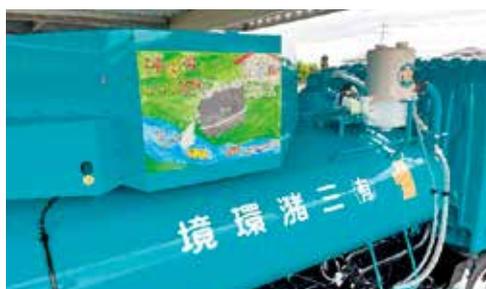
(株)環境サニタリー様に引き続き2台目となります。

これらの作品の活用が、地域住民の方に浄化槽を身近なものとして知っていただく良い機会になればと思います。

なお、当協会では、浄化槽ポスターコンクールの入賞作品を、様々な形で浄化槽の啓発に活用したいと考えておりますので、ご活用を検討される場合は、お気軽にお声かけ下さい。



掲載されている浄化槽ポスターコンクールの作品



ラッピングされたバキュームカー

2025年度JICA課題別研修「分散型污水处理システム導入・普及」に協力

一般財団法人日本環境衛生センターでは、独立行政法人国際協力機構(JICA)の委託を受け、標記研修を7月17日から8月8日まで実施しました。

この研修は、開発途上国の政府関係機関等の職員が、「日本における包括的な分散型污水处理システム」について学習することで、開発途上国における污水处理問題への対処能力を向上させることを目的として実施されるものです。

当協会では、昨年度に引き続き、「浄化槽の設置及び維持管理サービスの提供」について講義を行うとともに、「浄化槽放流水検査施設の視察」として筑後検査センターの視察に協力しました。

両日とも、研修生から積極的な質問が多数あり、大変有意義な研修になったと思います。

講義

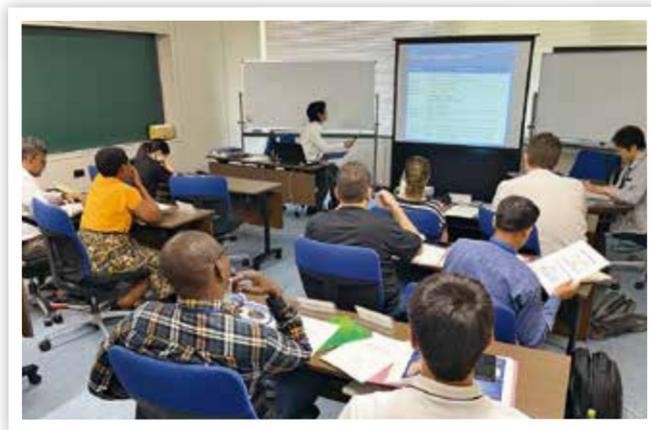
日時：令和7年7月24日(木) 15:00～17:00
場所：独立行政法人国際協力機構・九州センター(北九州市)

視察

日時：令和7年7月30日(水) 10:00～12:00
場所：一般財団法人福岡県浄化槽協会・筑後検査センター(久留米市)

研修員

9名
ブラジル2、レバノン1、ネパール1、フィリピン1、ルワンダ1
スリランカ1、タジキスタン1、ザンビア1



「令和7年度指定採水員指定講習会」及び「令和7年度福岡県浄化槽管理士研修」を、以下のとおり「行橋商工会議所(行橋市)」と「福岡県立飯塚研究開発センター(飯塚市)」の2会場で開催しました。

会場ごとの受講者数(第1期)

会場名	開催日	受講者数	
		管理士研修	指定採水員講習会
行橋商工会議所 (行橋市)	令和7年7月31日(木)	49名	55名
福岡県立飯塚研究開発センター (飯塚市)	令和7年8月 1日(金)	44名	38名
合 計		93名	93名

講師の方々



福岡県環境部廃棄物対策課
高倉 講師



福岡県環境部廃棄物対策課
安永 講師



公益財団法人 日本環境整備教育センター
櫛田 講師

会場のようす



行橋商工会議所(行橋市)



福岡県立飯塚研究開発センター(飯塚市)

「令和7年度福岡県浄化槽管理士研修」開催のお知らせ

福岡県、北九州市、福岡市及び久留米市の保守点検業登録条例に基づく「令和7年度福岡県浄化槽管理士研修」の開催日程は表1のとおりです。

この研修は、浄化槽管理士の資質の向上に資するものと位置付けられているとともに、研修の修了が保守点検業の登録(新規・更新・変更届出)の要件となっています。

福岡県内で登録されている事業者様には、4月中に別途封書にてご案内しています(年1回のみ)ので、自社の登録更新の時期等をご確認の上、今年度の受講を希望される方は、申し込み期限内にお申込みくださいますようお願いいたします。受講料は1人10,000円です。

受講申込書は、協会ホームページからも取得できます。



詳細はこちら

「令和7年度指定採水員指定講習会」開催のお知らせ

「令和7年度指定採水員指定講習会」の開催日程は表1のとおりです。

この講習会につきましては、「福岡県浄化槽管理士研修」と同日に開催しています。

令和8年3月31日で更新期限を迎え、引き続き採水員の指定を受けようとする方は、必ず受講していただきますようお願いいたします。受講料は無料です。

関係事業者様には、4月中に別途封書にてご案内しています(年1回のみ)ので、更新の時期等をご確認の上、今年度の受講を希望される方は、申し込み期限内にお申込みくださいますようお願いいたします。

受講申込書は、協会ホームページからも取得できます。



受講申込書

今回の指定講習会の受講により、(更新時期でない方が受講された場合を含む)指定期間が令和11年3月31日に延長されます。

なお、今年度より、研修当日の紙での資料配付がなくなります。

右の二次元コードまたは福岡県浄化槽協会ホームページをご確認ください。



詳細はこちら

表1. 令和7年度「福岡県浄化槽管理士研修」及び「指定採水員指定講習会」の開催日程等

期	地区	開催日	会場	所在地	定員	申込期限(受講料入金期限含む)
第1期	北九州	令和7年 7月31日(木)	行橋商工会議所 3階 大研修室	行橋市 中央1丁目9-50	80名	終了しました
	筑豊	令和7年 8月 1日(金)	福岡県立 飯塚研究開発センター 2階 多目的ホール	飯塚市川津680-41	80名	
第2期	筑後	令和7年11月20日(木)	久留米地域 職業訓練センター 3階 大ホール	久留米市 東合川5丁目9-10	80名	令和7年10月17日(金)まで ※受講料入金期限も同日
	筑豊	令和7年11月21日(金)	福岡県立 飯塚研究開発センター 2階 多目的ホール	飯塚市川津680-41	80名	
第3期	福岡	令和8年 2月12日(木)	福岡生活衛生食品会館 5階 大会議室	福岡市 博多区千代1丁目2-4	120名	令和8年 1月 9日(金)まで ※受講料入金期限も同日
	筑後	令和8年 2月13日(金)	久留米地域 職業訓練センター 3階 大ホール	久留米市 東合川5丁目9-10	80名	

「指定採水員指定講習会」及び「福岡県浄化槽管理士研修」のカリキュラム

【指定採水員指定講習会】

時刻	時間	項目	科目
9:00	20分	受付	
9:20	5分	オリエンテーション	
9:25	30分	浄化槽行政	(1) 浄化槽行政について
		外観・水質・書類検査、総合判定	(1) 福岡方式(効率化11条検査)について (2) 11条検査の依頼方法と判定方法について (3) 浄化槽放流水の採水方法と残留塩素の測定方法
9:55	80分		
11:15	30分	浄化槽の設置、保守点検・清掃	(1) 法定検査における指摘事例

【福岡県浄化槽管理士研修】

時刻	時間	項目	科目
11:45	60分	受付（※午前中の受講者は必要なし）	
12:45	5分	オリエンテーション	
12:50	50分	浄化槽行政の動向	(1) 浄化槽を取り巻く環境の変化 (2) 法改正の内容 (3) 助成制度
		地域における浄化槽情報	(1) 福岡県内における浄化槽の整備状況 (2) 福岡県における浄化槽施策の動向
		浄化槽の構造と機能	(1) 新しい浄化槽の機能と構造 (2) 既存型式の仕様変更
		浄化槽の設置、保守点検・清掃	(1) 新しい浄化槽の保守点検と清掃 (2) 休止時の留意事項 (3) 転換浄化槽における初回の保守点検時の留意事項 (4) 改善事例（トラブルシューティング） (5) 保守点検・清掃の記録票の活用
14:10	130分		
16:20	20分	考査	

令和7年度浄化槽関係試験・講習会日程表

今年度の試験・講習(福岡会場)は、以下の日程で実施される予定です。

なお、昨年に引き続き、浄化槽技術管理者講習会以外の受験/受講申請は、オンライン申請となっています。

また、浄化槽管理士講習は、対面講習とオンデマンド講習が各1回開催されます。(対面講習の受付は終了しました)

詳しくは、公益財団法人日本環境整備教育センターのホームページをご覧ください。



ホームページ

試験・講習会	料 金	実施日・実施期間・受付期間	会 場	申込みについて
浄化槽管理士 国家試験	23,600円	令和7年10月26日(日) 受付は終了しました	九州ビル 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-8-31	【オンライン申請】 公益財団法人日本環境整備教育センターのホームページで、ご確認ください。 申請は、受付期間中のみ行えます。
浄化槽設備士 講習 (オンデマンド)	133,100円 ※1	令和7年10月2日(木)~11月19日(水) 効果評定:11月26日(水) 受付は終了しました	福岡生活衛生食品会館 〒812-0044 福岡市博多区千代1-2-4	
浄化槽管理士 講習 (オンデマンド)	153,400円 ※2	【オンデマンド】 (短期) 令和8年1月7日(水)~1月20日(火) (中期) 令和7年12月3日(水)~1月20日(火) (長期) 令和7年11月5日(水)~1月20日(火) 考查:令和8年1月27日(火) 受付期間:R7.10/14~10/20	天神チクモクビル 〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-27	
浄化槽技術管理者 講習会	56,400円	令和8年1月21日(水)~1月23日(金) 受付期間:R7.12/8~12/19	福岡生活衛生食品会館 〒812-0044 福岡市博多区千代1-2-4	

※1 浄化槽管理士資格をお持ちの方で受講一部免除を選択する方は、125,400円

※2 浄化槽設備士資格をお持ちの方で受講一部免除を選択する方は、142,100円

■ 申請書の請求および申し込み先

浄化槽技術管理者 講習会	一般財団法人福岡県浄化槽協会 企画課 〒811-2412 糟屋郡篠栗町大字乙犬966-7 TEL:092-947-1800 FAX:092-947-3636
-----------------	--

※その他の試験・講習につきましては、オンライン申請となります。

■ 免状の申請および再交付先

浄化槽設備士関係	国土交通省 九州地方整備局 建政部計画・建設産業課 建設業係 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第2合同庁舎別館 TEL:092-471-6331 FAX:092-476-3511
浄化槽管理士関係	公益財団法人日本環境整備教育センター 免状交付担当宛 〒130-0024 東京都墨田区菊川12-23-3 TEL:03-3635-4881 FAX:03-3635-4886

「エコアクション21」の現地審査について

7月29日(火)と30日(水)の両日、エコアクション21認証登録の現地審査が実施されました。当協会では、平成19年度から環境省が策定した環境経営システム「エコアクション21」を活用して、環境負荷の低減目標や浄化槽の法定検査など主要事業に関する目標を定め、協会全体の活動の進捗管理を行っています。



このうち二酸化炭素排出量については、18年間で「973,101kg-CO₂」削減し、コスト面でも約3,588万円削減することができました。

これらの活動については、毎年「環境経営レポート」として取りまとめ、協会のホームページで公表しています。(下記二次元バーコードからご覧ください。)

これからも積極的に環境経営活動を推進してまいります。

エコアクション21審査員による現地審査のようす



筑後検査センター



筑豊検査センター



事務局・福岡検査センター



エコアクション21 環境経営レポート



当協会の環境活動

インターンシップの受入

当協会では、平成16年度から、インターンシップ実習生の受け入れを行っています。

今年度は、令和7年8月4日・5日の2日間、筑後検査センターにて、福岡県立八女工業高等学校(筑後市)の生徒2名を対象に、研修を実施しました。

研修では、浄化槽の構造や役割についての講義、浄化槽の法定検査の現場体験、水質分析業務の実習、社会人との交流を通じた職業意識の育成など、さまざまなプログラムを通じて、水環境保全の重要性について理解を深めていただきました。

初めは緊張していた実習生も、次第に積極的に質問をするなど、真剣に取り組む姿が印象的でした。学校とは違う実務の現場を体験することで、将来の進路を考えるうえでも貴重な機会になったことと思います。当協会では、今後も研修内容の充実や受け入れ体制の整備を進めながら、地域社会への貢献と若い世代の職業意識の向上に寄与できるよう、実践的な学びの場の提供を通じて、インターンシップ制度に積極的に取り組んでまいります。



水質分析業務の実習のようす



浄化槽の現場体験のようす

環境省 報道発表 2025年8月22日

<国土交通省、農林水産省同時発表>

環境省、国土交通省、農林水産省の合同で、令和6年度末時点における全国の汚水処理人口普及状況を調査した結果、汚水処理人口普及率は93.7%（前年度から0.4ポイント上昇）となりました。

1. 汚水処理人口普及率

汚水処理施設の整備は、整備区域、整備方法、整備スケジュール等を設定した「都道府県構想」に基づき各地方公共団体が効率的、効果的に実施しています。

令和6年度末における全国の汚水処理施設の処理人口は、**1億1,613万人**となりました（資料1-1、資料1-3）。これを総人口に対する割合でみた汚水処理人口普及率は、**93.7%**（令和5年度末については、93.3%）となりましたが、未だに約780万人が汚水処理施設を利用できない状況です（資料1-2）。

また、我が国における汚水処理人口普及状況は、大都市と中小市町村で大きな差があり、特に人口5万人未満の市町村の汚水処理人口普及率は**84.5%**（令和5年度末については、84.0%）と、全国平均からいまだ大きく後れている状況です（資料1-1）。

2. 処理施設別の普及状況

処理人口を各処理施設別にみると、下水道によるものが1億140万人（総人口に対する普及率81.8%）、農業集落排水施設等によるものが283万人（同2.3%）、浄化槽によるものが**1,175万人**（同9.5%）、コミュニティ・プラントによるものが15万人（同0.1%）でした（資料1-2）。

汚水処理施設の整備は、地域の実情に応じた整備方法、整備スケジュール等を設定した「都道府県構想」に基づき、各地方公共団体が効率的、効果的な実施に努めており、国は引き続き、汚水処理施設の未普及地域早期解消に向けた支援を推進してまいります。

<参考>

汚水処理人口普及状況の指標は、下水道、農業集落排水施設等、浄化槽、コミュニティ・プラントの各汚水処理人口の普及状況を、人口で表した指標を用いて統一的に表現することについて環境省、国土交通省、農林水産省の合意に基づくものであり、平成8年度末の整備状況から毎年公表しています。

詳細につきましては、環境省のホームページをご覧ください。

URL: https://www.env.go.jp/press/press_00398.html

その他

令和7年度福岡県浄化槽整備事業補助金交付申請・決定集計表について

①小型浄化槽設置整備事業（個人設置型）

①-1 小型浄化槽設置整備事業

事業主体	補助 基数	人槽別内訳											基本額 (千円)	補助額 (千円)
		5	6	7	8	9～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～40	41～50		
大牟田市	200	118	0	74	0	2	1	1	1	1	1	1	79,058	26,352
久留米市	120	78	0	40	0	2	0	0	0	0	0	0	43,552	14,517
直方市	77	52	0	18	0	4	0	3	0	0	0	0	29,158	9,719
飯塚市	218	95	0	115	0	6	2	0	0	0	0	0	83,924	27,974
田川市	264	191	0	63	0	7	1	0	2	0	0	0	96,483	32,161
柳川市	180	121	0	56	0	3	0	0	0	0	0	0	65,000	21,666
八女市	240	130	0	107	0	3	0	0	0	0	0	0	89,102	29,700
筑後市	120	86	0	32	0	2	0	0	0	0	0	0	42,896	14,298
大川市	95	45	0	45	0	5	0	0	0	0	0	0	36,310	12,103
行橋市	180	142	0	36	0	2	0	0	0	0	0	0	63,144	21,048
豊前市	29	16	0	12	0	1	0	0	0	0	0	0	10,828	3,609
小郡市	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1,492	497
筑紫野市	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1,160	386
宗像市	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	828	276
古賀市	10	7	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3,566	1,188
福津市	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	548	182
うきは市	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	414	138
宮若市	51	38	0	10	0	2	1	0	0	0	0	0	18,595	6,198
嘉麻市	90	62	0	26	0	2	0	0	0	0	0	0	32,444	10,814
朝倉市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みやま市	8	5	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3,036	1,012
糸島市	115	81	0	31	0	3	0	0	0	0	0	0	41,370	13,790
那珂川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇美町	7	5	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2,611	870
篠栗町	10	3	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	3,894	1,298
新宮町	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1,410	470
岡垣町	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1,492	497
遠賀町	3	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1,365	455
小竹町	10	5	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	3,695	1,231
鞍手町	25	10	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	9,530	3,176
桂川町	48	25	0	22	0	1	0	0	0	0	0	0	17,956	5,985
筑前町	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	746	248
東峰村	5	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1,906	635
大木町	57	49	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	17,054	5,684
広川町	62	34	0	27	0	1	0	0	0	0	0	0	23,014	7,671
香春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
添田町	26	13	0	11	0	2	0	0	0	0	0	0	9,966	3,322
糸田町	25	8	0	16	0	1	0	0	0	0	0	0	9,828	3,276
川崎町	30	14	0	15	0	1	0	0	0	0	0	0	11,406	3,802
大任町	15	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	6,210	2,070
赤村	16	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	5,968	1,989
福智町	50	30	0	16	0	3	0	1	0	0	0	0	19,167	6,389
苅田町	81	62	0	16	0	3	0	0	0	0	0	0	28,852	9,617
みやこ町	55	30	0	23	0	2	0	0	0	0	0	0	20,578	6,859
吉富町	8	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2,738	912
上毛町	40	23	0	16	0	1	0	0	0	0	0	0	14,808	4,936
築上町	22	10	0	11	0	1	0	0	0	0	0	0	8,422	2,807
計	2,613	1,615	0	916	0	65	5	5	3	2	1	1	965,524	321,827

②浄化槽市町村整備推進事業等（糸島市及び那珂川市は個別排水処理施設整備事業）

6 市町

事業主体	補助 基数	人槽別内訳											基本額 (千円)	補助額 (千円)
		5	6	7	8	9～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～40	41～50		
久留米市	21	14	0	4	0	1	0	1	0	1	0	0	24,117	1,808
うきは市	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5,215	391
朝倉市	60	21	0	30	0	5	2	0	1	0	1	0	57,764	4,332
みやま市	100	65	0	30	0	5	0	0	0	0	0	0	92,570	6,942
那珂川市	10	5	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	10,064	754
香春町	38	26	0	9	0	3	0	0	0	0	0	0	35,274	2,645
計	234	131	0	81	0	16	2	1	1	1	1	0	225,004	16,872

小型浄化槽設置整備事業、浄化槽市町村整備推進事業等計

47 市町村（①と②の重複除く）

事業主体	補助 基数	人槽別内訳											基本額 (千円)	補助額 (千円)
		5	6	7	8	9～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～40	41～50		
計	2,847	1,746	0	997	0	81	7	6	4	3	2	1		

事業報告
検査事業
普及啓発
試験・講習
CSR
その他

その他

浄化槽システムの脱炭素化推進事業について

環境省では、昨年度に引き続き「浄化槽システムの脱炭素化推進事業」を実施しています。この事業に係る二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の交付事業執行団体として、一般社団法人全国浄化槽団体連合会が採択され、当協会は福岡県内で実施される事業の受付団体として、補助金交付申請の受付業務等を担っています。

公募締切日が近づいてまいりましたので、事業の活用をご検討されている方は令和7年11月28日までに申請ください。

補助事業者公募の締切日

令和7年11月28日 17時必着

補助金の交付対象となる事業

(1)最新型の高効率機器への改修事業

30人槽以上の既設合併処理浄化槽に付帯する電動機器を最新型の高効率機器(高効率ブロワ等)へ改修するほか、タイマーやインバーター装置等を導入することにより対象機器の年間消費電力量を20%以上削減する事業

(2)先進的省エネ浄化槽への交換事業

30人槽以上の既設合併処理浄化槽から先進的な省エネ浄化槽への本体交換によって、浄化槽全体の年間消費電力量を46%以上削減する事業

(3)再生可能エネルギー設備の導入事業

上記(1)又は(2)事業と併せて実施する再生可能エネルギー設備(太陽光発電、蓄電池等)の導入事業

本事業の詳細については、執行団体である「一般社団法人全国浄化槽団体連合会」のホームページ(URL <https://www.zenjohren.or.jp>)に掲載されています。

詳しくは、当協会検査課(TEL 092-947-1800)までお問い合わせ下さい。



事業報告

検査事業

普及啓発

試験・講習

CSR

その他

その他 **地域清掃活動の実施**

当協会は、「環境の日」を含む6月の「環境月間」と、環境衛生週間(9月24日「清掃の日」～10月1日「浄化槽の日」)にあわせ、環境活動の一環として、事務局、筑後、筑豊検査センターにおいて、周辺の道路や水路などの地域清掃活動を行っています。

清掃活動のようす



6月4日(水)
事務局・福岡検査センター



6月17日(火)
筑後検査センター



6月20日(金)
筑豊検査センター

その他 **法定検査の指摘事例**

浄化槽法定検査における指摘事例を紹介します。

外観検査に係るチェック項目※

19.逆洗装置及び洗浄装置の稼働状況

指摘の状況

(株)ダイキアックスXH型5・7人槽において、可動式洗浄管の接続ユニオンが非常に固く、手で緩めることが困難です。このため、洗浄管の回転移動ができず、接触る材の一部が正常に洗浄できない状況です。

指摘の理由

正常に洗浄できない一部のろ材において生物膜が肥厚し、死水域が形成されることで、処理機能が低下するおそれがあります。

事例



接続ユニオンを緩めることができず、正常にろ材洗浄を実施できない

改善方法など

接続ユニオンの固着を解消する必要があります。
なお、無理に力を加えると、ユニオンや配管本体が破損するおそれがあるため、十分な注意が必要です。
対応が困難な場合は、メーカーにご相談ください。

※浄化槽法定検査判定ガイドライン(平成14年2月改訂版)に定める外観検査に係るチェック項目です。

その他

浄化槽水質改善事例の紹介

当協会では、浄化槽の水質改善に関する調査を行っています。
今回は、これまでの調査の中から、放流水質が改善した事例についてご紹介します。

《好気性処理不足により処理水質が低下した浄化槽の改善事例》

調査の概要

水質悪化の主な要因は、接触ろ床槽のろ材の一部が生物膜の過剰生成により閉塞し、死水域が形成されたことで好気性処理が不十分になったためだと考えられます(調査時の槽内の状況:①接触ろ床槽のろ材に黒色で肥厚した生物膜が過剰生成、②溶解性BODが高値、③亜硝酸性窒素が未検出)。

対策として、好気性処理を向上させるために、維持管理要領書に基づき以下の処置を実施しました。

①散気管および接触ろ床槽のろ材を洗浄(生物膜の適正化)、②洗浄管の向きを変更し、ろ材の常時洗浄運転を実施、③循環水移送装置のバルブを全閉とし、送風機からの空気を接触ろ床槽へ集中させるよう調整。これらの対策により、処理目標水質を達成することができました。

浄化槽情報

メーカー	型式	人槽	処理方式	使用人員	特記事項
(株)ダイキアクシス	XH	5人	横向流夾雑物除去接触ろ床循環方式	4人	-

調査時の水質検査結果

水質検査項目		調査開始時 5月30日	調査終了時 8月22日	
二次処理装置	DO(mg/L)	2.9 ~ 3.8	2.2 ~ 4.6	
	透視度(度)	12	30	
	SS(mg/L)	11	4	
放流水	pH	7.5	7.2	
	C-BOD(mg/L)	46	8.1	
		D-BOD	41	6.9
		SS性BOD	5	1.2
	透視度(度)	15	30	
	SS(mg/L)	22	4	
	全窒素(mg/L)	50	15	
	アンモニア性窒素(mg/L)	40	11	
	亜硝酸性窒素(定性)	-	++	
	硝酸性窒素(定性)	-	-	
	塩化物イオン濃度(mg/L)	28	45	
色相t	黄白濁	無色		

処理水の様子

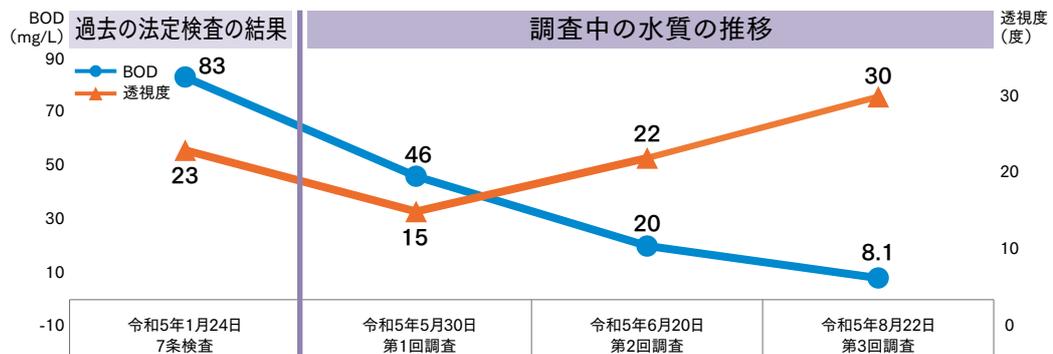


調査の様子



※ C-BOD:硝化反応を抑えたBOD、D-BOD:溶解性のBOD

BODと透視度の推移



- この記事についての詳しい内容は、当協会HPに掲載しておりますのでご覧ください。
- これまでに水質改善事例集として出版した情報を当協会HPでご覧いただけますので、ご活用下さい。



今回は、那珂川市の「筑紫耶馬溪(ちくしやばけい)の紅葉」と「中ノ島公園」を紹介します。



ちくしやばけい
筑紫耶馬溪の紅葉

脊振(せふり)、九千部(くせんぶ)などの山を源とする清流那珂川の上流部、南畑発電所あたりから南畑ダムに至るまでの渓谷を釣垂峡(つたるきょう)といい、筑紫耶馬溪という名で知られています。

その中に、東屋や休憩所などを整備した南畑公園があり、特に秋の紅葉のシーズンには木々が色づき、人々を楽しませてくれます。福岡中心部から車で30分足らずというアクセスの魅力も加わり、手軽な景勝地として人気のスポットです。



住所: 〒811-1233 福岡県那珂川市市ノ瀬～五ヶ山

中ノ島公園

清流那珂川の上流で、自然にできた中州をそのまま活かした公園が中ノ島公園です。

園内にはかわせみの里(生産物直売所)や四季彩館(コミュニティスペース)があり、夏から秋にかけて水遊びや紅葉狩りなど多くの人に利用されています。

隣接地には、県指定天然記念物のヤマモモ、オガタマノキなど巨木でおおわれた日吉の杜があり、夏は避暑地として市内外から多くの人が訪れにぎわっています。



住所: 〒811-1233 福岡県那珂川市市ノ瀬445-1

写真提供: 那珂川市地域振興部 地域振興課

令和7年度 浄化槽シンポジウム福岡の開催について

当協会では、浄化槽の有用性の啓発をはじめ、それぞれの市町村にふさわしい生活排水処理計画が構築されるよう、毎年「浄化槽シンポジウム福岡」を開催しています。

今年度は、3つの講演を予定しておりますので、是非ご参加ください。

Johkasou Symposium FUKUOKA

令和7年度 浄化槽 シンポジウム福岡

～福岡の水環境と災害時のトイレ対策を踏まえた浄化槽の未来像～

6 浄化槽の普及率向上
11 浄化槽の整備
14 浄化槽の活用

地方行政の政策決定に携わる皆様や
県民の皆様を対象に、生活排水処理の現状や、
生活排水処理計画に関する有益な情報を提供します。

令和7年
日時 **10月31日** 金 13時00分～17時00分
(受付開始12時00分～)

参加無料
参加には事前申込が
必要です。
裏面をご参照ください。

場所 **パピヨン24 ガスホール** 住所：福岡市博多区千代1-17-1
TEL：092-633-2222

Access
地下鉄 千代県庁口駅4番出口直結
バス 千代町下車、徒歩約1分
車 太宰府インター方面から、都市高速千代ランプより車約3分
福岡インター方面から、都市高速呉服町ランプより車約5分
※会場駐車場(地下)は有料です。

講演
I. 「これからの浄化槽について」(60分)
環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 浄化槽推進室長 沼田 正樹
II. 「福岡県汚水処理構想について」(60分)
福岡県 建築都市部 下水道課 公共下水道係 技術主査 山田 佳寛
III. 「災害時のトイレ・衛生対策の重要性」(60分)
NPO法人 日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤

共催：福岡県／福岡県浄化槽推進協議会／一般財団法人福岡県浄化槽協会
後援：全国浄化槽団体連合会九州地区協議会／福岡県環境整備事業協同組合連合会

その他

会場では、「九州エコファミリー応援アプリ」のポイントが付与されるQRコードを展示します。

お申し込みはこちらから
(締切10月10日)



【お問い合わせ先】 企画課 江藤、大久保 TEL:092-947-1800 e-mail:kikaku@fjkyo.or.jp

編集後記

今年も最高気温が40度を超える地域や線状降水帯が発生するなど異常気象の夏となりました。

気象庁は今後の見通しについて10月にかけても全国的に平年より気温が高くなる見込みとのことで、秋の季節があるか心配しています。

今号の「かいほう」に掲載しております浄化槽シンポジウム福岡を今年度も開催しますので、是非ご参加下さいませようお願いいたします。(U)

2025
秋号
No.177

かいほう



発行年月日：令和7年10月1日
発行所：一般財団法人福岡県浄化槽協会
〒811-2412
福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬966-7
TEL.(092)947-1800
FAX.(092)947-3636
発行人：安徳博
ホームページ：<https://www.fjkyo.or.jp>



この印刷物は環境保護の為、再生紙を使用し、植物油インキによって印刷しました。